

令和8年(2026年)8月12日 水曜日

熊本日日新聞

イオンモール熊本に設置された献花台で手を合わせた人たち＝11日午前11時15分ごろ、嘉島町(岩崎弘大)



爆発現場 献花相次ぐ

2026年熊本地震後に爆発事故が起きた、専門店の従業員7人が犠牲となった熊本県嘉島町の大型商業施設「イオンモール熊本」の献花台には連日、花や飲み物を手にした多くの人が訪れている。11日は木村敬知事が犠牲者を悼み、花を手向けた。

木村知事は鍋田平町長とともに花をささげ、建物に向かって手を合わせた。報道陣の取材に、木村知事は「亡くなった方への御霊に哀悼の誠をささげるとともに、けがをされた方の一日も早い回復を祈る」と語った。そして「事故の原因究明にわれわれも協力する。ご遺族や被害者

にしっかりと対応を取っていただいた上で、再建することをお願いした。

週に1～2回利用し、地震當時も施設で妻と買い物をしていったという熊本市東区の岡本吉明さん(68)は「避難した後に爆発があったと聞いてびっくりした。店員さんが優しく、愛着のある場所。今日で発生から2週間なので、ささやかだが花をささげにきた」と静かに話した。(横川千夏)

熊本地震 爆発事故 内部調査で判明

イオン(千葉市)は11日、2026年熊本地震後に嘉島町の大型商業施設「イオンモール熊本」で爆発事故が起きた専門店の従業員7人が犠牲となった事故の内部調査結果を発表した。伊が、貴重品の盗難や、客の足元への危険な状況、屋外避難後の安全確認不足など、人災要素が複数あったと判明した。伊は、貴重品の盗難や、客の足元への危険な状況、屋外避難後の安全確認不足など、人災要素が複数あったと判明した。伊は、貴重品の盗難や、客の足元への危険な状況、屋外避難後の安全確認不足など、人災要素が複数あったと判明した。

イオン従業員「再入館認めた」

内部調査で判明

イオン(千葉市)は11日、2026年熊本地震後に嘉島町の大型商業施設「イオンモール熊本」で爆発事故が起きた専門店の従業員7人が犠牲となった事故の内部調査結果を発表した。伊が、貴重品の盗難や、客の足元への危険な状況、屋外避難後の安全確認不足など、人災要素が複数あったと判明した。伊は、貴重品の盗難や、客の足元への危険な状況、屋外避難後の安全確認不足など、人災要素が複数あったと判明した。

2026年(令和8年)
8月12日
水曜日

購読・配達のご用は
0120-374625

紙面のお専線は
096-361-3115
(土・日・祝日 9:00～17:00)

発行所
熊本日日新聞社
〒960-8806
熊本市中央区世安1-5-1
代表(096)361-3111
© 熊本日日新聞社 2026年



支えあおう 熊本
いま心ひとつに

休刊日号外

休刊日に発行する熊日ビューアー限定の号外です。掲載した記事や写真は、おすし降の紙面と重複する場合があります。最新ニュースは熊日電子版をご覧ください。

宇城市の避難者減 目視で677人

宇城市は11日、2026年熊本地震の後、市内11の指定避難所で約3千人と把握していた避難者数を目視で数え直したところ、10日夜の時点で約8割少ない677人だったと発表した。

市によると、これまで避難所内で過ごしている人や避難所の駐車場で中泊している人、外から避難所に支援物資を取りに来る人を避難所の名簿に登録し、集計した約3千人を避難者数として公表していた。

しかし、実際は登録された人が市側に報告せずに避難所を退出したり、物資を受け取りに来なくなったたりした人がいて、名簿から削除する作業が追いついていなかったという。10日正午時点の熊本市の報告は1340世帯2914人だったが、同日午後9時時点の人数を目視で数えた結果、444世帯677人だった。

市は「今後は避難所の避難者を正確に把握し、実態に合った支援につなげる」としている。(林田賢一郎)

■ 松橋町の全9556戸 断水解消

宇城市は11日、松橋町の全9556戸で断水が解消したと発表した。小川町の全3618戸と豊野町の6割に当たる480戸では断水が続いている。

市によると、水質検査で安全を確認した。通常より圧力を下げて給水。漏水箇所を把握して次第、補修工事を行っている。

断水に関する最新情報は市の公式ホームページに掲載している。断水中の地域では通水試験中であり、家庭で水が出る場合があるが、飲用ではなく、生活用水として使うよう呼びかけている。(林田賢一郎)

■ 宇土市 8避難所を1カ所に

宇土市は11日、2026年熊本地震で市内8カ所に設けていた避難所を閉鎖し、新たに開設したecovin宇土アリーナ(宇土市民体育館)の1カ所に集約した。避難継続を希望した約80人の移動が完了した。

市によると、避難所の集約は、感染症対策や健康管理に万全を期すために実施。日赤の災害支援ナースが午後8時から翌朝8時まで常駐するなど支援体制を強化した。避難所には防災テント約80張り、段ボールベッド約700個、寝具約50枚が用意された。(松田憲史)

八代市で仮設住宅着工



八代市鹿倉町の市有地で始まった建設型仮設住宅の建設作業＝11日

2団地35戸 10月入居へ

熊本市は11日、2026年熊本地震で被災した八代市の仮設住宅の建設が完了し、10月に入居する予定と発表した。建設型仮設住宅の建設が完了し、10月に入居する予定と発表した。建設型仮設住宅の建設が完了し、10月に入居する予定と発表した。建設型仮設住宅の建設が完了し、10月に入居する予定と発表した。

九州道 緊急車両通行可に 全壊1000棟超

2026年熊本地震で九州道が被災し、全壊1000棟を超える被害が出た。九州道は11日、緊急車両の通行を許可すると発表した。九州道は11日、緊急車両の通行を許可すると発表した。九州道は11日、緊急車両の通行を許可すると発表した。九州道は11日、緊急車両の通行を許可すると発表した。

次世代画像センサー 29年量産

ソニーとTSMC 合志市の新工場で



ソニーとTSMCの合資会社「ソニーセミコンダクタソリューションズ」は、熊本県合志市に新工場を建設すると発表した。新工場は、次世代画像センサーの生産に特化したもので、2029年に稼働開始を予定している。

ソニーは、次世代画像センサーの開発に力を入れている。今回の工場建設は、ソニーの技術とTSMCの製造能力を組み合わせ、高性能な画像センサーを生産するための取り組みである。

TSMCは、半導体製造の大手企業として知られている。今回の工場建設は、TSMCの技術とソニーの技術を組み合わせ、高性能な画像センサーを生産するための取り組みである。

今回の工場建設は、熊本県の経済活性化に貢献すると見られている。また、地元住民への雇用創出にも期待されている。

「みちびき7号」打ち上げ



宇宙航空研究開発機構(JAXA)は11日、日本時間午後4時55分、種子島宇宙センターから打ち上げられるH3ロケット9号機を打ち上げた。打ち上げは成功し、衛星は予定の軌道に投入された。

打ち上げは、H3ロケットの初打ち上げであり、JAXAにとって重要な節目となっている。H3ロケットは、日本の宇宙開発にとって重要な役割を果たすことが期待されている。

今回の打ち上げは、H3ロケットの性能を証明するための取り組みである。JAXAは、今後の打ち上げでもH3ロケットの性能を向上させることを目指している。

打ち上げは、H3ロケットの性能を証明するための取り組みである。JAXAは、今後の打ち上げでもH3ロケットの性能を向上させることを目指している。

今回の打ち上げは、H3ロケットの性能を証明するための取り組みである。JAXAは、今後の打ち上げでもH3ロケットの性能を向上させることを目指している。

「H30号機で

H30号機は、H3ロケットの10号機として打ち上げられる予定である。H30号機は、H3ロケットの性能を向上させるための取り組みである。JAXAは、今後の打ち上げでもH3ロケットの性能を向上させることを目指している。

H30号機は、H3ロケットの10号機として打ち上げられる予定である。H30号機は、H3ロケットの性能を向上させるための取り組みである。JAXAは、今後の打ち上げでもH3ロケットの性能を向上させることを目指している。

H30号機は、H3ロケットの10号機として打ち上げられる予定である。H30号機は、H3ロケットの性能を向上させるための取り組みである。JAXAは、今後の打ち上げでもH3ロケットの性能を向上させることを目指している。

H30号機は、H3ロケットの10号機として打ち上げられる予定である。H30号機は、H3ロケットの性能を向上させるための取り組みである。JAXAは、今後の打ち上げでもH3ロケットの性能を向上させることを目指している。

H30号機は、H3ロケットの10号機として打ち上げられる予定である。H30号機は、H3ロケットの性能を向上させるための取り組みである。JAXAは、今後の打ち上げでもH3ロケットの性能を向上させることを目指している。